

県立鹿児島工業高等学校同窓会会報

ろっこう

No.14 2024/OCT



校 精 創 誠
訓 進 造 実

一、紫にほふ桜島

その美はしる気高さに
吾等の意気をたぐへてむ
清き流れの甲突の
夜昼舎かぬいそしみに
わが精進の則を見む

二、伊敷の原に聳え立つ

大煙突のいただきよ
空をおほうて立つ煙
工場におこる朝夕の
天地どもす響きこそ
わが鹿工の行進歌

三、名君島津斉彬公

新工業を開かれし
集成館も程近し
自然に歴史に恵まれし
幸を思うていざ進め
鹿児島工業学生われら



同窓会会長ごあいさつ



永里 和吉

【生年月日】S26.8.4 73 歳
 【学歴・職歴】
 S45 鹿児島工業高等学校工業化学科卒
 S50 日本大学建築学科 卒
 国鉄、海上保安庁 県教委(教員、教頭、校長)
 【趣味】ゴルフ、スポーツ観戦

会員の皆様、猛暑や地震・水害など天変地異が日本全国で起こり、また新型コロナの再発生など不安材料もありますが、いかがお過ごしでしょうか。

今夏は記録的な猛暑が連日続き、地域によっては41度超えるところもあり例年以上に熱中症対策強化に努めなければならなかったと思います。鹿児島も1年の半分(5月から10月まで)が夏(夏日、真夏日、猛暑日)になり、私の人生でも一番熱い年になりました。夏休みに小学3年生の孫が私の車に乗るなり、「灼熱地獄だね～」といった言葉に家内とびっくりし、なれない四字熟語に笑ったものである。もちろん孫は漫画の世界の言葉の引用で意味もあまりわからなかったと思うが・・・。

母校は明治41年鹿児島群立工業徒弟学校創設以来今年で116周年、大正8年鹿児島県立工業学校として草牟田に移転してから105年、昭和24年県立鹿児島工業高等学校と改称してから75年を迎えた。母校の環境も変わり6階建て校舎や実習棟・体育館など、ここ15年位で全面改築し、「新たな鹿工高」が今年度で完成する。皆様方が青春の時空を刻んだ「学びの舎」が新たな装いととも大きく変わってきた。実際、昔の面影は旧正門と大煙突しか残っておらず、そのシンボル大煙突・旧正門と新校舎のコラボが、歴史と近代工業教育をつなげてくれるように映る。ぜひ新生した母校を皆さんの眼で確認に立ち寄ってみませんか。

6月5日南日本新聞の地域面に「33年節目同窓会に幕」と大きく取り上げられた。昭和33年3月3日母校電気科を卒業された「鹿工電33会」の方々が85～86歳と高齢になり、平成3年の第1回から33年目となる今回をもって同会を締めくくったと掲載されている。幹事の栗屋三郎さんに先日始良支部総会でお会いした時に話を伺い、「まだまだ元気。卒業した仲間と

はいつでも連絡を取り合い、いつでも会える体制は整えている。絆は永遠」と元気に焼酎を飲みながら話されていた。同級生同士で長い間連絡取り合い共有されている姿を拝見し、同窓会の仲間はいいなあ～と思うひとコマであった。

今年の同窓会総会(慰霊祭、懇親会含む)は7月6日(土)開催した。

慰霊祭は護国神社、総会は母校、懇親会は城山ホテル鹿児島で行った。特に今年の亡師亡友の慰霊祭には3名の特別会員の名前があった。神奈川支部で長年幹事をされた古川順二様、本部の副会長をされた浜田英俊様、関西支部を創設された木ノ下良男元支部長様も含まれました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。なお、今年の実行委員は平成14年卒業の山下義隆委員長のもと、ラグビー部、サッカー部出身者を中心に構成された。制約の多いなか苦労も多かったと思うが最高の企画・運営をしていただいた。感謝申し上げます。

毎年のごことではあるが同窓会には元気な高齢者のご参加の人が目立つ。特に90歳近くでゴルフをされている方が数名いる。「俺は100歳まで生きると決めた」と書店の陳列棚の本を手にした。作者は今年87歳になった加山雄三氏だ。われら青春時代のスーパースターである。波乱万丈の人生を振り返り、「俺の全盛期は70代であった。そして80代の今はまだまだ青春。100までピンピンしてコロリと逝くには、身体だけでなく気持ちの張りが必要。それにはいくつになっても目標を持ち、努力を続け、周りに感謝しなければいけない。」と語っている。『目標・努力・感謝』いくつになっても響く言葉である。

最後に、今年度もこの会報誌を通じて母校、会員同士の繋がりや架け橋になればと思っています。母校の繁栄と会員の皆様のご健勝・ご多幸を祈念申し上げ挨拶とします。



学校長ごあいさつ



田中 耕一郎

【生年月日】S40.12 58 歳

【職歴・職歴】

H23 鹿児島大学大学院機械工学修了

H24 鹿児島県教員へ採用

H16.4 鹿児島工業高校勤務（教員 8 年間）

H29.4 鹿児島工業高校勤務（教頭 3 年間）

R5.4 鹿児島工業高校勤務（校長 2 年目）

（県総合教育センター：H24～H28 県教委：R2～R3）

同窓生の皆様、日頃から母校へのご協力・ご支援、誠に有難うございます。お陰様で7月6日（土）令和6年度同窓会総会懇親会も無事終了いたしました。山下実行委員長をはじめ実行委員、同窓会役員の皆様にお礼申し上げます。

さて、今、教室では電子黒板やプロジェクターが教材を映し出し、生徒の机にはタブレット端末が置かれている光景が日常になりつつあります。使い方によっては黒板とチョークのみの授業より、効率的で分かりやすい授業になります。

しかし、生徒が「分かった！」と納得するのは、やはり教師の声や表情、黒板に書かれた気合いの入った文字によるところが大きいと思います。私たちろっこうの教員は、そのような新しいICT機器に対応しながらも、物事の本質をしっかりと押さえ、授業や部活動などの学校教育全体で「よき工業人」「よき社会人」の育成に取り組んでいきたいと思っています。そのような思いを込め、今年の目標を「質実で誠実な学校を目指す」としたところです。歴史と伝統を継承しつつ着実な歩み続ける後輩の生徒のために、今後とも同窓生の皆様の温かいご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

結びに、同窓生の皆様の益々のご健勝とご活躍、鹿児島工業高校同窓会の益々のご発展を祈念申し上げます、あいさつといたします。

グラウンド整備は今年12月に完成予定

大煙突前の校内グラウンドの整備は令和5年7月に着工し、順調に進んでいます。もともとあったグラウンドに隣接する実習棟跡地と一体化する約11,000㎡が対象範囲になり、排水溝やクレー舗装、人工芝舗装、防球ネットの工事をします。テニスコート3面、サッカーグラウンド1面、外周走路（200mの6レーン）が設置されます。また、地下排水管の埋設工事中であり、完成予定の12月以降には校内グラウンドで行なう体育授業が増える効果があります。



同窓会入会식을2月29日に開催

同総会本部は令和6年同窓会入会식을2月29日本校体育館で開催し、永里会長ら本部役職員、3年生346名と担当教師等が参加しました。会長は「3月中に鹿児島弁や郷土のことも勉強してコミュニケーション能力を上げて下さい」と激励した後、新入会員代表の野上田美紀さん（電気技術系）へ入会記念品のビジネスマナーの本を贈呈しました。新入会員代表挨拶へ移り、橋口漣さん（建設技術系）は「昨年までコロナウイルス感染防止で活動の制約がありましたが、鹿児島国体では本校生が素晴らしい成績を上げ学校を盛り上げました。私たちは伝統ある鹿工の卒業生としての誇りを胸に精一杯努力しますので、ご指導をお願いします」と決意を表明しました。



令和6年度同窓会総会・懇親会に各地から345名が参加

鹿児島工業高校同窓会本部は、総会を初めて学校の会議室で行うことにしました。
懇親会会場はいつものとおり城山ホテル鹿児島です。

亡師亡友の慰霊祭 7月6日 午後1時から鹿児島市の護国神社で慰霊祭を執り行いました。神主先導に従い、永里会長、田中校長に続いて、PTAや生徒会、同窓会支部などの代表者が榊を奉納しました。なお、慰霊碑は同窓会館の隣接地に建立されています。慰霊祭を終えた後、徒歩で工業高校の会議室に移動しました。



慰霊祭

総 会 同窓会総会は午後2時から開催し、本部や県外支部等から約40人が参加しました。永里会長から開会挨拶があり、続いて本部役員が活動報告並びに予算決算、役員改選(丸峯伸哉副会長の新任、佐藤俊一副会長から監査へ転任、白濱由紀子監査の退任)、名誉会員認定(3人)の議案を説明しました。議案のすべてが参加者全員の承認で原案通り可決されました。そのあと、会報誌の発行と同窓会ホームページについて報告がありました。



総会(議案説明)

懇親会 懇親会は午後5時からエメラルドホールで受付を開始し、吹奏楽部が演奏でお迎えしました。開会までの間、部活動紹介に続いて関連団体代表者から部主将に支援金の贈呈式がありました。開会にあたり永里会長が「今年は天候に恵まれ、皆様をお迎え出来ます。総会実行委員も積極的に活動してしてくれました。十分に楽しんでください」と挨拶しました。田中校長は「同窓会の皆様には大変お世話になっております。今後もよろしくお願いします」と感謝を述べた。続いて、壇上で新名誉会員の外園前九州支部長、幸加木前中部支部長、大園前中国四国支部長へ金バッチを贈呈しました。その後、八重倉中部支部長が乾杯の音頭を取り、祝宴が盛り上がっていきました。また、山下実行委員長は「広告やチケット購入など多大な協力に感謝します」と挨拶しました。祝宴が進むなかで、恒例の抽選会が行われました。次第も終わり近くなり、来年度実行委員への引継ぎ式が済んだ後、参加者全員で肩を組み校歌を斉唱しました。最後は元吉関東支部長が万歳三唱の音頭をとり懇親会を閉めました。



懇親会(田中会長挨拶)



懇親会(金バッチ贈呈)

同窓会幹事会に45名が参加

4月26日 鹿児島市内のホテルで令和6年度幹事会を開催し、同窓会役員と各科幹事の45名が集まりました。初めに会長が「今年の同窓会総会に提案する議案について審議をお願いします」と開催挨拶しました。担当役員が活動方針や予算案、役員改選等を説明した後に、協議して原案通り提案することを決議しました。次に、今年の総会実行委員長 山下義隆さんが新聞広告やチケット購入の協力をお願いしました。続いて懇親会へ移り、冒頭の来賓挨拶で田中校長が同窓会の協力に感謝を述べました。牟田神相談役が乾杯の音頭を取って、会食が始まりました。



同窓会支部協議会で議案事前説明

7月5日午後6時から鹿児島市内のホテルタイセイアネックスで開催し、関東支部はじめ各地支部、職域支部等の団体の役員と本部役員合計34名が参加しました。

永里会長の開会挨拶に続き、田中校長が挨拶を行いました。支部協議会では総会議案を支部役員の方々へ説明することとしており、今年は特別に南日本新聞広告欄の大きさと価格設定について、意見交換をしました。各支部から役員紹介の範囲や会計事情の説明がありましたが、今後も統一するため協議を続けることになりました。



実行委員長挨拶

2024 年度
山下 義隆 委員長
(平成 14 年度建築系卒)



令和6年度、鹿児島工業高等学校同窓会にご出席いただき誠にありがとうございました。初夏の日差しが強い懇親会当日でしたが、345名ものご参加をいただきました。

本年度のチャレンジとして、広告協賛の値上げを断行させていただきました。値上げラッシュの中、苦渋の決断でしたが、皆様方のご協力により例年通りの、多くのご協賛をお預かりさせ

ていただきました。ありがとうございました。実行委員長という大役を拝命し、プレッシャーに押し潰されそうになりましたが、同級生のサポートや、幹事OB会を中心とした皆様を支えられ無事に乗り越えることができました。

鹿児島工業高校で学んだ校訓【精進・創造・誠実】を改めて思い出し、頂いた環境に感謝しながら皆様と時間を共有出来たことは一生の思い出になりました。

今後も母校の発展のために皆様と共に寄与して参りたいと思います。誠にありがとうございました。

一般会計、総会会計、教育振興会計の報告

一般会計 R5 決算

収入の部 (単位 円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	備 考
前年度繰越金	5,284,722	5,284,722	0	
入 会 金 会 費	2,020,000	2,024,766	4,766	生徒 200 円 × 1,060 名 × 10 ヶ月
同窓会運営協力金	500,000	500,000	0	総会会計より
寄 付 金	0	53,000	53,000	池田 五男様 中部支部会員 1 名様
雑 収 入	0	51,536	51,536	HP協賛広告
利 息	278	39	△ 239	
合 計	7,805,000	7,914,063	109,063	

支出の部 (単位 円)

科 目	予算額	決算額	増減(決算)-(予算)	備 考
定 例 会 費	150,000	170,869	20,869	定例役員会
幹 事 会 費	170,000	165,000	△ 5,000	
需 用 費	60,000	28,017	△ 31,983	事務室電気使用料、事務用品
通 信 費	590,000	355,128	△ 234,872	電話料金、OCN、郵送料、HP 保守料、コピー機代
支部総会祝金	250,000	140,000	△ 110,000	
支部交流交付金	1,230,000	852,480	△ 377,520	
支部活動費	760,000	660,000	△ 100,000	(一律)県外10万円、県内4万円(特例措置額)
慶 弔 費	150,000	149,694	△ 306	慰霊塔献花年間契約金、弔電供花
総 会 費	200,000	200,000	0	総会費補助
事 務 費	550,000	525,712	△ 24,288	事務局員賃金
雑 費	100,000	105,800	5,800	南日本新聞年賀広告掲載代
予 備 費	3,595,000	0	△ 3,595,000	
合 計	7,805,000	3,352,700	△ 4,452,300	

残高/次年度繰越金 7,914,063 - 3,352,700 = 4,561,363

総会会計 R5 決算

収入の部 (単位 円)

科 目	予算額	決算額	増減(決算)-(予算)	備 考
前年度繰越金	1,736,926	1,736,926	0	
会 費	2,200,000	1,663,000	△ 537,000	来場者 325 名
広 告 費	6,100,000	5,060,000	△ 1,040,000	
南日本新聞	3,600,000	3,820,000	220,000	
同窓会新聞	2,500,000	1,240,000	△ 1,260,000	
雑 収 入	55,000	46,000	△ 9,000	
本 部 補 助	200,000	200,000	0	
利 息	74	18	△ 56	預金利息
合 計	10,292,000	8,705,944	△ 1,586,056	

支出の部 (単位 円)

科 目	予算額	決算額	増減(決算)-(予算)	備 考
会 議 費	600,000	226,380	△ 373,620	実行委員会、各支部会
通 信 費	250,000	221,937	△ 28,063	
印 刷 費	150,000	164,450	14,450	
交 通 費	400,000	382,540	△ 17,460	
広 告 費	2,480,000	2,702,700	222,700	
南日本新聞	2,130,000	2,345,200	215,200	南日本新聞、版下代
同窓会新聞	350,000	357,500	7,500	作成費
総 会 費	3,200,000	2,858,233	△ 341,767	慰霊祭、総会、懇親会
賞 品 費	300,000	270,220	△ 29,780	景品代
イ ベ ン ト 費	60,000	40,061	△ 19,939	部活紹介生徒、楽器運搬費
当番幹事記念品費	200,000	200,000	0	学校へ寄贈
同窓会運営協力金	500,000	500,000	0	同窓会一般会計へ
部活動補助費	300,000	300,000	0	学校へ
手 数 料	10,000	6,490	△ 3,510	銀行振込手数料
予 備 費	1,842,000	0	△ 1,842,000	
合 計	10,292,000	7,873,011	△ 2,418,989	

残高/次年度繰越金 8,705,944 - 7,873,011 = 832,933

教育振興会 R5 決算

収入の部 (単位 円)

科 目	予算額	決算額	増減(決算)-(予算)	備 考
前 期 繰 越 額	30,208,602	30,208,602	0	
会 報 協 力 金	0	0	0	
寄 付 金	0	0	0	
雑 収 入	398	252	△ 146	
合 計	30,209,000	30,208,854	△ 146	

支出の部 (単位 円)

科 目	予算額	決算額	増減(決算)-(予算)	備 考
助 成 金	500,000	381,150	△ 118,850	同窓会入会記念品代他
通 信 費	10,000	0	△ 10,000	
部活動奨励費	800,000	430,000	△ 370,000	
賞 金	600,000	525,712	△ 74,288	
周年事業積立金	200,000	200,000	0	
記念事業実行費	1,289,336	0	△ 1,289,336	
会報誌製作費	600,000	803,000	203,000	
予 備 費	26,209,664	0	△ 26,209,664	
合 計	30,209,000	2,339,862	△ 27,869,138	

残高/次年度繰越金 30,208,854 - 2,339,862 = 27,868,992

一般会計 R6 予算

収入の部 (単位 円)

科 目	R6 年度	R5 年度	増減(6年度)-(5年度)	備 考
前年度繰越金	4,561,363	5,284,722	△ 723,359	
入 会 金 会 費	2,020,000	2,020,000	0	生徒 200 円 × 1,010 名 × 10 ヶ月
同窓会運営協力金	0	500,000	△ 500,000	総会会計より
会 報 協 力 金	0	—	0	教育振興会計より移管
寄 付 金	0	0	0	
雑 収 入	0	0	0	
利 息	637	278	359	
合 計	6,582,000	7,805,000	△ 1,223,000	

支出の部 (単位 円)

科 目	R6 年度	R5 年度	増減(6年度)-(5年度)	備 考
定 例 会 議 費	170,000	150,000	20,000	定例役員会
幹 事 会 議 費	200,000	170,000	30,000	幹事会
需 用 費	40,000	60,000	△ 20,000	事務室電気使用料、事務用品、名刺、封筒
通 信 費	490,000	590,000	△ 100,000	電話料金、OCN、郵送料、コピー機、連絡メール使用料
支部総会祝金	250,000	250,000	0	県外・県内支部総会参加費
支部交流交付金	1,230,000	1,230,000	0	県外・県内(市内除く)支部総会旅費(同窓会役員・学校)
支部活動費	740,000	760,000	△ 20,000	一律県外支部 10 万円、県内支部 4 万円
慶 弔 費	150,000	150,000	0	慰霊塔献花年間契約金、転退職先生方へ祝金
総 会 費	0	200,000	△ 200,000	総会補助
会報誌制作費	800,000	—	800,000	教育振興会計より移管
事 務 費	600,000	550,000	50,000	事務局員賃金
雑 費	100,000	100,000	0	
予 備 費	1,812,000	3,595,000	△ 1,783,000	
合 計	6,582,000	7,805,000	△ 1,223,000	

総会会計 R6 予算

収入の部 (単位 円)

科 目	R6 年度	R5 年度	増減(6年度)-(5年度)	備 考
前年度繰越金	832,933	1,736,926	△ 903,993	
会 費	2,200,000	2,200,000	0	約 400 名
広 告 費	6,300,000	6,100,000	200,000	
南日本新聞	4,800,000	3,600,000	1,200,000	20,000 円 × 240 口
会 報 誌	1,500,000	2,500,000	△ 1,000,000	15,000 円 × 100 口
雑 収 入	46,000	55,000	△ 9,000	
本 部 補 助	0	200,000	△ 200,000	
利 息	67	74	△ 7	預金利息
合 計	7,179,000	10,292,000	△ 3,113,000	

支出の部 (単位 円)

科 目	R6 年度	R5 年度	増減(6年度)-(5年度)	備 考
会 議 費	610,000	600,000	10,000	交通費、謝金、弁当代、懇親会補助
通 信 費	350,000	250,000	100,000	郵送料(広告依頼、総会資料送付、モバイル FAX 等)
印 刷 費	180,000	150,000	30,000	
交 通 費	400,000	400,000	0	
広 告 費	2,800,000	2,480,000	320,000	
南日本新聞	2,400,000	2,130,000	270,000	南日本新聞、版下代
会 報 誌	400,000	350,000	50,000	作成費(広告分)
総 会 費	4,100,000	3,200,000	900,000	慰霊祭、総会、懇親会
賞 品 費	300,000	300,000	0	景品代
イ ベ ン ト 費	50,000	60,000	△ 10,000	部活紹介生徒・楽器運搬費
当番幹事記念品費	200,000	200,000	0	学校へ寄贈
同窓会運営協力金	0	500,000	△ 500,000	
部活動補助費	300,000	300,000	0	
手 数 料	10,000	10,000	0	銀行振込手数料等
予 備 費	251,000	1,842,000	△ 1,591,000	次年度繰越金
合 計	9,551,000	10,292,000	△ 741,000	

教育振興会 R6 予算

収入の部 (単位 円)

科 目	R6 年度	R5 年度	増減(6年度)-(5年度)	備 考
前 期 繰 越 額	27,868,992	30,208,602	△ 2,339,610	
会 報 協 力 金	—	0	0	
寄 付 金	0	0	0	
雑 収 入	8	398	△ 390	利息
合 計	27,869,000	30,209,000	△ 2,340,000	

支出の部 (単位 円)

科 目	R6 年度	R5 年度	増減(6年度)-(5年度)	備 考
助 成 金	500,000	500,000	0	ビジネスマナー研修他
通 信 費	10,000	10,000	0	
部活動奨励費	800,000	800,000	0	
賞 金	630,000	600,000	30,000	
周年事業積立金	200,000	200,000	0	
記念事業実行費	2,000,000	1,289,336	710,664	創設時門扉設置
会報誌製作費	—	600,000	△ 600,000	一般会計へ移管
予 備 費	23,729,000	26,209,664	△ 2,480,664	
合 計	27,869,000	30,209,000	△ 2,340,000	

関東支部だより



贈呈しました。また、本年3月19・20日に開催された柔道選手権大会に20数年振りに出場を果たした柔道部の応援に中部支部有志と共に武道館へ駆けつけ激励金を贈呈しました。

令和5年5月より、コロナ感染症もインフルエンザ並みの5類に変更され、人混みの中ではまだマスクは手放せないものの、私達の生活は以前に戻りつつあります。

そんな中で昨年の12月24・25日に開催された第42回全国高等学校弓道選手権大会が東京で開催され男子弓道部が団体戦で見事準優勝に輝きました。

一昨年も女子弓道部が水戸で行われた大会で優勝を果たし2年続けて男女で優秀な成績を収め、関東支部として激励金を

5月19日(日)に開催された第27回渋谷おはら祭りには、稲留連長・宮ノ前副連長を中心に、傷んでいた法被を本部と統一したデザインで新調し、飛び入りを含め30名以上の同窓生で心機一転「鹿児島工業連」として26回目の出場を果たしました。惜しくも入選は出来ませんが笑顔いっぱいでの皆様に楽しさが伝わるように張り切って踊りました。

昨年11月11日(土)に3年振りに神奈川地区総会を開催し、昭和28年に神奈川支部として規約を作成し昨年で71回目の開催を最後に神奈川地区としての活動に終止符を打ちました。

それを受けて今年の5月25日(土)の第51回関東支部総会は、田中学校長先生、本部永里会長・佐藤

副会長、八重倉中部支部支部長、東関西支部副支部長、佐伯中国・四国支部支部長、県・市東京事務所よりご列席を頂き総勢74名で開催され、神奈川地区の歴史を引き継ぐ

関西支部だより

私は1970年(鹿工3年の時)に開催された大阪万国博覧会を見学し、その壮大な規模と内容に魅せられて大阪に就職しました。

そして夜学にも通いました。今春、就職して54年の歳月が流れ、仕事に終止符を打ちました。

来年には夢洲で大阪万博が開催されます。生きてある間に2回も万博に遇えるとはなんと不思議な縁でしょうか。又、東京オリンピックも人生の中で2回も遇うことが出来ました。

本年4月に関西に就職、進学した鹿工卒業生22名を新会員として関西支部に迎えました。関西支部は九重支部長のリーダーシップのもとに15名(女性2名)の役員で互いに協力をして運営しています。

ことが承認され第72回関東支部総会としての開催と成り、新たなスタートを切りました。

関東支部長 元吉勝広
(S49 工芸科卒)



又、支部の発展に大きく寄与された歴代の支部長、そして多くの諸先輩方にも支えられてきました。

今年の9月29日(日曜日)は第18回関西鹿児島ファンデーが神戸ポートアイランドの国際展示場で開催されます。郷里の物産展や有名演歌歌手の芸能ステージ、焼酎の試飲など多彩な催しが計画されています。支部役員は館内の警備、誘導係を担当して来場者の安全、

安心の任務を行います。

鹿工関西支部総会・懇親会は大阪(道頓堀ホテル)で11月16日(土曜日)に開催されます。各支部や県高校同窓会関西連合会、県人会の役員の方々にも出席して頂いておりますが、総会・懇親会が盛会になる為には関西支部会員の参加が何よりも

『田子の浦に うち出でてみれば白妙の 富士の高嶺に雪は降りつつ』と詠われた海岸が自宅近くにあり、海抜17mの高い堤防から伊豆半島の天城連山、湾の左奥にはハイカーに人気の沼津アルプス(五つの小さな山々)が見渡せます。ここは静岡県駿河湾、眺める景色は時に励まし、時に慰めてくれる子供の頃遊んだ故郷を思い起こす「心の錦江湾」となっています。振り向けば雄大な富士山が見下ろす。

中部支部だより



重要な鍵をにぎります。鹿工同窓会関西支部の会員の皆さん、思い出に残る楽しい総会・懇親会にして参りましょう。

関西支部幹事下栗義彰
(昭46電気科卒)

「駿河湾の奥行 60km(70km)、湾口幅56km(11km)海最深部2500m(228m)」(内は錦江湾

私は旭化成を定年後、電気管理事務所を立ち上げて14年。高圧受電するお客様

の電気のホームドクターとして「電気設備の安全・安心」を提供できるよう日夜活動しています。高校時代「陸上競技の練習に明け暮れた日々、かけがえのない先輩や同級生との出会い、電気の仕事をしていく上で

の基礎学習に力を注いで頂いた先生方」など、世の中を生き抜く体力・精神力・専門の基礎知識・数々の思い出を育んでくれた母校にこの歳になって改めて感謝しているこの頃です。

中部支部は愛知・岐阜・三重・静岡4県の同窓生で構成、静岡から名古屋は遠く県東部からは新幹線でも1.5〜2時間かかります。昨年10月には数年ぶりに静岡ミニ懇親会を開催、80歳を超える大先輩、米田勤務の後輩、16年ぶり再会の友、幹事長も愛知から参加、多数の鹿児島民謡を聞きながら旧交を温め校歌の大合唱で締め。母校の同窓会を皆で「いけんかせんといかん」と心を新たにする一日

日頃のお力添えに深く感謝申し上げます。中国四国支部は創立16周年、今春新卒者6名を加え、240名が在籍しています。

中国四国支部だより

校訓「精進・創造・誠実」をベースに「母校部活動支援」「相互親睦」「新卒者含む若手のサポート」を三本柱とし、校友の共感や信頼を得られ将来に

でした。

また、当支部は東西にも移動しやすい所でもあり、今春23年ぶり8回目の出場を果たした全国高等学校柔道選手権大会の東京武道館へ支部長・柔道部OBら多数が駆けつけた。現地では関東支部の方々と合流し、賑やかに熱く応援しました。

今後も後輩の活躍を願い、全国大会進出を中部支部一同楽しみに待っています。

末筆ながら母校の益々のご繁栄と同窓生の皆様方のご健勝ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

静岡幹事 長江喜美雄
(S43年電気卒)

渡り持続可能な状態を目指しています。新卒者含む若手を自身寮訪問、歓迎ランチ会開催するなど「絆」を育み、寄り添った活動の実践を積み重ねています。

昭和43年電気科卒大園盛隆さんは永年支部長としてリードされたのはご存じのとおりです。令和6年7月同窓会総会で名

誉会員として承認されたことを報告します。大園さんは母校創立116周年記念講演会で演題「前を向いて」として生徒に語られるなど現在も広く活躍されています。

3月22日から山口県宇部市開催の「第42回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会」に出場を果たした母校ソフトボール部は8位入賞。私たちは現地で選手激励・応援。

昭和31年電気科卒田崎義雄名誉顧問が代表して激励金を贈呈しました。

令和5年度支部総会懇親会は、令和元年度以来4年ぶりに対面開催。来賓、令和2年卒1名、令和4年卒2名、令和5年卒3名の若手含む25名が集いました。トークタイムはスタッフの絶妙なアレンジと参加者の語りで盛り上がりました。二次会も19名が参加するなど楽しいひと時を満喫しました。また福山や岡山で

九州支部だより

鹿児島工業高等学校同窓会の皆様には益々ご健勝のことと存じます。令和6年度から九州支部長を



も懇親会を実施するなど相互親睦を図っています。

令和6年度支部総会懇親会は10月19日(土)にアパホテル広島駅前大橋2階レストラン「ラ・ペランダ」で開催します。皆様との出会い、再会を楽しみにしています。

中国四国支部長 佐伯克彦
(昭和61年機械科卒)

頃と伝承されており、記録がなく残念であります。歴史は相当永いものと思われま。

特筆すべきは、昭和58年から平成19年まで23年間支部長を務め、平成7年会則制定をはじめ社内常設の事務局、事務室の提供を無償で続けてこられる程、永年会の維持発展に尽力された牧之内繁男さん(故人)です。この功績は絶大であります。

さて、九州支部事務局のある福岡市を少し記したいと思います。総務省が4月中旬に発表した人口推計で福岡県の人口が北海道を上回り全国8位になったそうです。その県庁所在地である福岡市は、中核エリアである天神と博多で「100年に1度」と言われる歴史的な再開発プロジェクトが進行中で「天神ビックバン」、「博多コネクティッド」と称されます。

再開発の規模は、東京や大阪などにおけるそれとは比べるべくもないわけですが、高い建物の建築や、施設の改築・増設での事業、店舗の拡大で街を活性化させ、人口や観光客を増やすのが目的になります。

6月1日(土)は、令和



6年度九州支部総会懇親会を中洲川端駅近くの「冷泉閣ホテル川端」に於いて28名の同窓生・来賓の方々を迎え和やかに開催しました。

元氣な姿の再会を喜び、肩を組み輪になって声高らかに校歌を斉唱し感動しました。無事に総会・懇親会を終えることが出来ました。元氣で頭脳明晰な高齢者の参加にも心から感謝申し上げます。

九州支部管内には、今春68名の卒業生を迎えました。毎年役員で電話、メール等により総会・懇親会への参加を要請しております。支部は故郷に近く、古

里や学校に対する郷愁が
そこまで強くない事など
で近年の卒業生の参加が
少なく、時間的、経済的負
担負担が大きいためなの
が課題解決に至っていない
が実情です。

また、ここ数年、コロナ
禍、部員減少の影響で、7
月に福岡市で開催される、
金鷲旗・玉竜旗大会の激

いちき串木野支部だより

いちき串木野支部で
は、支部幹事会を年数回
開催し、11月の第1土曜
日に総会と懇親会を開催
しています。

しかしながら、令和元
年度に開催しました第15
回総会・懇親会から令和
4年度までは、新型コロナ
ウイルス感染症の患者
数が増加したことから大
人数での会議や会食が制
限されるなどしたため
に、中止しておりました。
昨年度は、新型コロナウイルス
イルス感染症が5類とな
り制限が解除となったこ
とから、4年ぶりに令和
5年11月12日に『カラオ
ケラウンジ アットホー
ム花』において、第16回
総会・懇親会を開催しま
した。鹿児島工業高等学

励、応援が出来ておりま
せんが、果たせるよう期待
しております。

卑近な例として、校友の
共感や信頼を得られる
「絆」を育む小さな活動を
積み重ねていきたいと思っ
ています。

九州支部長 徳満達夫
(S42年建築科卒)



校同窓会本部及び母校か
らもご出席をいただき、
母校の近況報告等をお聞
かせいただき、久しぶり
に顔を会わせた会員の皆
さんと楽しいひと時を過
ごしました。

ます。
今後、母校並びに鹿
児島工業高等学校同窓会
の発展のため、微力では
ありません。

大島支部だより

令和6年度の鹿児島工
業高校の同窓会が盛大に
開催できましたことをお
喜び申し上げます。

私たちの住んでいる奄
美大島は、梅雨も明け夏
本番を迎えています。昨
年9月2日に大島支部の
同窓会を久しぶりです
が、盛大に開催するこ
とができました。

今年は、7月20日に令
和6年度の大島支部同窓
会懇親会を計画していま
す。

奄美大島で勤務してい
る県職員、九電職員、高
校の先生などに案内し、
地元に住んでいる人と交
流を深める予定です。

今後、奄美群島の各離
島に住んでいる会員ま

鹿児島工業どんこ会だより

鹿児島工業高校同窓会
の皆様にはますますご健
勝のことと存じます。会
創設以来56年の長い間、
鹿工の同窓という固い絆
でしっかり結ばれ、おか

ありますが貢献していま
いたいと思います。

支部長 上荒磯 力
(S47機械科卒)

た、新規会員の掘り起こ
しをして、支部活動の充
実を図っていききたいと考
えています。

支部長 高田 浩志
(S55土木科卒)



げさまで会員数も60名ま
で増強され、建築関係中
心の経営者から多種多様
な業種に亘り経営者なら
びに経営に携わる会員が
増えて参りました。若い

世代を交えて、いかに母
校のために役立つか、在
校生のためになるか、
しっかりと向き合ってい
きたいと思います。

どんこ会の目的は親

睦・相互扶助・奉仕とい
う三つの目標を掲げ、諸
先輩方の築かれた良き伝
統を後輩へ伝承すると
もに、どんこ会が更に充
実するよう、広報活動や
交流活動に取り組むこと
です。

これからも10代目会長
として、皆様と力を合わ
せ、母校の発展に対して
惜しみなく協力し、同窓
会の強力な推進力となれ
るように取組み、又、未
永く後進の良い踏み台と
なるべく微力ではござい
ますが、努力精進してゆ
きたいと思っております。

鹿児島工業どんこ会
会長 萩原敏幸
(S43土木科卒)

鹿児島工業高校同窓会 電気部会が5年9月に発足

令和5年9月26日鹿
児島市内のホテルアネッ
クスタイルで、鹿児島
工業高校同窓会電気部会
の設立協議会が開催され
ました。電気科卒の有志
23名が集まり協議した結
果、電気部会発足と初代
部会長に江藤正幸さん

(S41年卒)が就任する
ことを決めました。

江藤会長は「この度、
鹿児島工業高校電気科卒
の有志によってこの電気
部会が設立されたことを
大変うれしく思いますと
同時に、この電気部会に
参加する卒業生を多く募



様には、ご指導・ご協力
のほどよろしくお願い申
し上げます。終わりにな
りますが、同窓会の益々
の発展と、会員の皆様方
のご活躍とご健勝をお祈
り申し上げご挨拶と致し
ます。

鹿児島工業どんこ会
会長 萩原敏幸
(S43土木科卒)

り、これから電気科を卒業する後輩たちのために電気部会を盛りあげてまいります」と挨拶しました。

次の電気部会総会は令和6年9月13日(金)18時から同じホテルで開催する予定です。電気科卒業生の方は事務局

(電話

090-2589-1797
4)までご連絡ください。

事務局長 倉橋利一

(S60年卒)

鹿児島工業土木・建設技術会だより

全国の同窓生の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

鹿児島工業土木・建設技術会は昭和60年5月発足以来、今年で40年目を迎えました。手元にある「鹿児島工業土木会」のファイルを確認すると、平成21年の総会・懇親会は4月下旬鹿児島市の山形屋食堂で開催され、創立100周年事業募金の特別実績報告書が配布資料として添付されていました。平成25年の総会ではゴルフコンペ実施が提案されました。資料を眺めると、歴代の役員の方々



が、綿々と会員の交流・親睦を図るため取り組んだことに思いをあらたにしました。

また、母校は平成3年に類型方式入学試験に変更し、科名を土木科から建設技術系へ変えたので、当会では「鹿児島工業土木会」から「鹿児島工業土木・建設技術会」に名称変更しました。

令和5年の総会・懇親会は、春に開催すると個人も会社も多忙で参加者が少なくなると考えて、11月4日鹿児島市の「ホテルタイセイアネットワーク」で開催しました。母校から渡邊裕久先生と有

川皓大先生にご臨席いただき、会員47名は酒杯を酌み交わし近況などを語り合いました。閉会に進むと食卓テーブルの周りに集まり、校歌を肩組んで歌いました。万歳三唱は名誉会員金里勝さん(昭和35年卒)に音頭取りをお願いしました。

ゴルフ交流会は令和5年9月島津カントリークラブで開催し21名が参加、交流を深めました。秋空の下で、愉快な時を過ごせたと聞いております。

令和6年度も春・秋の親睦ゴルフと晩秋の総会・懇親会をご案内いたします。

工芸・インテリア会だより

この度は鹿児島工業高校同窓会の開催を、心からお祝い申し上げます。

「工芸・インテリア会」は、工芸科、インテリア科、インテリア系のOB・OGの皆さんで各年代の垣根を越えて交流を楽しみ親睦を深めることを目的として活動しています。

令和6年に入り、3月25日には令和6年度の工芸・インテリア会の総会



すので、多くの会員の方々がご参加くださるようお願い申し上げます。最後に母校のご発展と卒業生並びに学校関係者皆様のご活躍をお祈りいたします。

会長 池田安則
(昭和42年卒)

を、柳田同窓会副会長を中心に28名の方々が集合して開催することが出来ました。12名の女性の方々にも参加していただき、笑顔とおしゃべりがたえない、とても楽しい会となりました。

今回、中野裕子さん(平成4年インテリア科卒業)が、ろうけつ染めの美術作品で第78回南日本美術展において吉井賞を受賞され、4月から1年

間フランスに派遣留学されるという大変おめでたいニュースも飛び込んできましたので、工芸・インテリア会でも、パリ留学の壮行会を執り行い、皆さんで送り出すことが出来ました。

この吉井賞とは、郷土の美術発展のために創設された美術展の最高賞で、世界に誇る人材を鹿児島から育てたいという発想から1976年より毎年1人をパリ留学生として支援するという歴史のある賞でございます。

今回の受賞の際にもテレビ・新聞などニュースでも大きく取り上げられていました。現在も、中野さんはパリで頑張っておられます。

その他にも、今年の鹿児島県美展においては、宮元篤司さん(平成4年インテリア科卒業)の大島紬を使った布絵が県知事賞を受賞されました。

このように優秀な芸術家の皆さんが、この工芸・インテリア科の卒業生の中に、まだまだ他にもたくさんおられることをぜひ今後とも報告させていただきます。

これからも、工芸・イ



ンテリア会としては卒業生の親睦の場としての活動にさらに励んでいければと思っています。

最後に、母校と鹿工同窓会の益々の発展と同窓生の皆様方のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

工芸・インテリア会会長

(H元インテリア科卒) 西倉 宏



大運動会でハツラツと競技

令和5年11月3日 鹿児島工業高校伊敷グラウンドで、大運動会が開催されました。大会テーマは「熱烈士気が天を撃つ 輝きたる汗 赫赫(かくかく)たる勝利」。トラックで各種の競走、櫓(やぐら)前では応援合戦、グラウンド中央で綱引きなど各種目に、生徒たちはハツラツと競いました。成績については、紫団(電子機械系)が競技の部を、黄団(建築、建設技術、インテリア)が「応援の部」と「工業杯」を、緑団(情報技術、工業化学)「櫓装飾の部」を、白団(電気技術系)が「ムカデ競争杯」を獲得しました。学年別で競う女子の部は2年生が勝利しました。



障害物競争



応援団腕くらべ

創立記念日に大園盛隆さんが講演

令和6年度 創立記念講演会が6月29日 鹿児島工業高校体育館で開催されました。講演は 加藤製油株式会社専務取締役工場長の大園盛隆さん(S43 電気科卒:前中国・四国支部長)が「前を向いて」の演目で、自己経歴の説明に続き後輩達の活躍を期待して激励を伝えました。



溢れる情熱



鹿工魂

吹奏楽部

吹奏楽コンクール金賞受賞と定期演奏会開催

鹿工吹奏楽部は「吹奏楽コンクール」と「定期演奏会」を二大行事に位置づけ、練習に取り組んでいます。令和5年7月 鹿児島市の川商ホールで開催された第68回鹿児島県吹奏楽コンクールの高校Aパートで金賞を受賞しました。

また、12月27日 鹿児島市の宝山ホールで第49回定期演奏会を開催しました。午後1時半から開会され、吹奏楽オリジナルステージでは行進曲「煌めきの朝」他2曲、OB・OGとの合同ステージでは4曲、次のバラエティーステージではアニメ映画の曲や歌謡曲等も元気よく演奏しました。観客からは盛大な拍手がありました。



宝山ホール

放送部

NHK杯全国高校放送コンテスト 出場

鹿工放送部は令和5年7月25日～27日東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された第70回NHK杯全国高校放送コンテストに、県代表として「ラジオドキュメント」部門に出場しました。都道府県大会には337作品が提出されており、そのうち176作品が全国大会に進みました。鹿工の作品は、決勝進出にあと一步届きませんでした。



青少年総合センター

ボクシング部 北海道総体 3名出場

鹿工ボクシング部は令和5年7月20日 北海道札幌市の北ガスアリーナ46で開催されたボクシング競技大会に、ライトフライ級で尾前志門君(3年生)ライト級で外園開地君(3年生)ライトウェルター級で小川智大君(3年生)が出場しました。それぞれ一戦必勝を期して戦い相手を上回る場面もありましたが、判定で敗れました。また、尾前志門君はかごしま国体のボクシング競技で少年男子ライトフライ級5位に入賞しました。



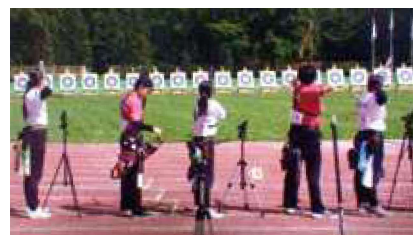
北ガスアリーナ 46

ソフトボール部 北海道総体 2回戦出場、全国選抜大会 入賞

鹿工ソフトボール部は令和5年8月5日 北海道石狩市スポーツ広場で開催されたソフトボール競技に出場しました。1回戦では秋田県のノースアジア大学明桜高校に10対0で勝ちました。2回戦では福井県の啓新高校と対戦し、1対5で敗れました。また 11月4日 日置市東市来総合運動公園であった第42回県高校新人大会のソフトボール決勝戦で、鹿屋農業高校に8対1で勝ちました。令和6年3月16日から 山口県で開催された第42回全国高等学校ソフトボール選抜大会に出場し、県立秩父農工科学高校(埼玉)と豊川高校(愛知)に勝ちました。続く準々決勝戦以降は期間内の天候不良で中止となり、他の7高校とも入賞となりました。

アーチェリー部 北海道総体 男子・女子とも予選に出場

鹿工アーチェリー部は令和5年8月9日 北海道の帯広の森陸上競技場で開催されたアーチェリー競技大会に出場しました。男・女とも団体戦で昨年度より順位を上げましたが、決勝には進めませんでした。また、かごしま国体のアーチェリー競技で西之園令鳳君(3年)は全国24位の成績でした。



帯広の森陸上競技場

馬術 かがしま国体 馬術競技の複数種目で優勝並びに上位入賞

かがしま国体の馬術競技は令和5年10月11～15日 霧島市牧園の特設馬術競技場で開催され、日高凱斗君(3年)は少年自由演技馬場馬術で優勝しました。上村汀君(2年)は少年リレーで4位、少年標準障害飛越で5位にそれぞれ入賞しました。

弓道 全国高等学校弓道選抜大会で準優勝

かがしま国体の弓道競技は出水市総合運動公園特設弓道会場で開催され、宮下美来さん(3年)は少年女子の遠的で優勝、近的で7位入賞しました。また、令和5年度全国高等学校弓道選抜大会の男子決勝戦は12月25日 東京武道館特設弓道会場で開催され、鹿児島工業高校弓道部は山形中央高校と対戦しましたが、僅差で準優勝でした。

ラグビー部 全九州高校新人大会に出場

鹿児島工業高校ラグビー部は1月28日 県立鴨池補助競技場であった第46回高校新人大会の決勝戦で鹿実を26対19で破り、2年ぶりに優勝しました。全九州高校ラグビー新人大会が 2月17日からひなた宮崎県総合運動公園で開催されました。1回戦で大分舞鶴高校と戦いましたが、7-61で負けました。



県立鴨池補助競技場

柔道部

全国高校柔道選手権大会に出場

鹿児島工業高校柔道部は1月14日 鹿児島市の西原商会アリーナで開催された第64回鹿児島県下高校選手権の決勝戦において、鹿児島情報高校を破り男子団体戦で優勝し、県代表になりました。また 3月20日 東京の日本武道館で行われた全国高等学校柔道選手権大会の1回戦で、東海大甲府高校(山梨)に1対4で敗れました。前日の個人戦では、1回戦で村山由亜君(3年)が北村斗麗君(埼玉栄高)に惜敗しました。



日本武道館

「鹿工電33会」が母校で最後の同窓会

「鹿工電33会」は昭和33年3月に鹿児島工業高校電気科を卒業した生徒の同窓会です。今年度の同窓会は鹿工会館に集まることになり、県内外から11名が参加されました。会長代行の中山隼人さんによると、校内にある古い石造物の大煙突や旧正門はもちろんのこと、新築の校舎などを見学しながら、当時の思い出話や近況を語り合ったそうです。

なお、同会については平成3年の第1回から3年毎に開催していましたが、33年目になる今回を節目に同会を締めくくることになりました。



鹿児島四高 OB・OG交流ゴルフ大会 島津ゴルフ倶楽部で開催

令和5年10月11日 鹿児島市の島津ゴルフ倶楽部で、鹿児島四高 OB・OG交流ゴルフ大会が開催されました。鹿工並びに鹿商、甲南、玉龍の OB・OGの145名が参加しました。因みに鹿工同窓会から51名出場。晴天の下、技を競い会話を楽しみました。表彰式については久しぶりに懇親会も兼ねて、天文館の「焼肉なべしま」で行われました。鹿工同窓会の上位入賞は松尾辰巳さん(S45 土木科卒)がネット70.8で10位でした。学校対抗戦(ネット上位8人の合計で決める)で、鹿工は準優勝しました。



倶楽部ハウスで受付



順位発表・商品授与

鹿児島工業ラグビー部

株式会社 鹿大丸

鹿児島工業ラグビー部 岩城組

チーム目標
鹿丸 正気無え (2勝・ベスト16)
県総体: 圧勝 (無失点! 3トライ差!) 九州大会: 1位パート1勝!

目指せ!!花園!!
5年ぶり 14回目出場!!

原田 大蔵 (S60年土木科卒) ラグビー部
 福吉 裕一 (H元年土木科卒) サッカー部
 亀割 俊也 (H5年建築科卒) 硬式野球部
 吉崎 道雄 (H5年建築科卒) 硬式野球部
 角 竜一 (H11年建設技術系卒) 軟式野球部
 藤田 卓杜 (H24年電子機械系卒) ラグビー部
 右田 智大 (H28年電子機械系卒) シニアマスター
 阿久根 涉希 (R5年インテリア系卒) 写真部

高性能・高品質・高信頼をモットーに極限までチャレンジ!



木ノ下金属工業株式会社

カーバッテリー端子は国内生産シェア50%

代表取締役 会長

木ノ下 良男 (電S26卒)
(令和6年6月8日逝去) 野球部OB

代表取締役 社長

木ノ下 良久

〒566-0043 大阪府摂津市一津屋3丁目3番1号

TEL (06) 6349-8212 FAX (06) 6349-6178

〒570-0004 大阪府守口市八雲西町2丁目13番10号

TEL (06) 6997-5300 FAX (06) 6997-5300

URL <http://www.kinoshitakinzoku.co.jp/>



(第二工場)

かごしまの未来と環境を考える企業へ

土木事業・解体事業・産廃廃棄物業

承認登録

ISO9001・ISO14001・ISO45001



永田重機土木株式会社

代表取締役

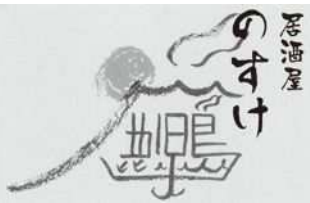
永田 雄一
(昭和61年 土木科卒)

〒892-0875 鹿児島市川上町2216-1

TEL: 099-244-3388 FAX: 099-244-5302



住みやすい環境づくりに貢献いたします 始良衛生有限会社 本社 〒899-5652 鹿児島県始良市平松7433-5 TEL 0995-65-2383 FAX 0995-65-2976 始良リサイクルセンター 〒899-5542 鹿児島県始良市上名2618 TEL 0995-54-4300 FAX 0995-54-4311	アクア・クリーン株式会社 代表取締役 齊藤 高宏 (平成3年建築科卒) 〒892-0836鹿児島市錦江町2-12	ACT LIVING (株) 代表取締役 金田 親典 (平成12年建築系卒) 〒899-2701 鹿児島県鹿児島市石谷町1875番地7	株式会社 有上設備 代表取締役 有上 和也 Ariue Kazuya (平成14年建築系卒) 事務所: 〒899-2704 鹿児島市春山町229-5 TEL: 090-6774-7706 Mail: ariuesetsubi@outlook.jp
インステッド ・生前整理・遺品整理・ハウスクリーニング ・葬祭サポート全般・司会業 ・お墓参り代行・お墓事業 一級葬祭ディレクター 代表 村 美穂子 (昭和59年インテリア科卒) 〒891-2101 垂水市海潟595-2 TEL.090-3604-3830	上蘭土木設計事務所 代表 上蘭 剛司 (昭和60年土木科卒) 〒814-0123 福岡市城南区長尾2-3-26-101 TEL. 090-2088-2746 FAX.092-516-5772	土木・建築・管工事業 有限会社 上林山組 取締役 上林山 龍一 (平成7年インテリア系卒) 〒891-0311 指宿市西方478-1 TEL. 0993-25-5515 FAX.0993-25-4052	総合建設業 有限会社 宇都建設 代表取締役 長野 亘 〒899-7104 志布志市有明町伊崎田8247 TEL.099-474-2066
(株)ECOライフ住設 代表取締役 片平 慶太 (平成7年電気系卒) 〒891-0105 鹿児島市中山町836-8	土木工事・舗装工事業 株式会社 江口土木 代表取締役 江口 まさよ (平成10年建設技術系卒) 〒892-0861 鹿児島市東坂元4丁目17番7号 TEL.099-248-0994 FAX.099-247-7302	(株)江藤建設工業 取締役会長 江藤 正幸 (昭和41年電気科卒) 〒890-0005 鹿児島市下伊敷1丁目53-16 TEL.099-229-7500	駐車場経営プロデュース 有限会社 エムデン・テクノパーキング 営業部 新地 敬 (平成14年電子工業系卒) 技術 田中 作 (平成21年電子機械系卒) 〒891-1204 鹿児島市花野光ヶ丘1丁目23-12 TEL.099-238-9538
(株)エンドル 代表取締役 荒瀬 一成 (平成11年機械系卒) 〒890-0026 鹿児島市原良六丁目1-1 TEL.099-230-0550	見た目だけのリノベーションは誰でも出来る。デザインだけではなく、その先家族が健康で長く住み続ける事ができる「住環境の当たり前」を私たちは提案したい。夏の暑さや冬の寒さから家族を守り、健康で笑顔溢れる暮らしを私達は断熱リノベーションでお手伝いします。 リノベーション・オブ・サイアー 2019 総合グランプリ受賞 トクラスリフォーム選手権 2018・2019 年連続全国最優秀賞 10年先も笑顔で暮らせる未来を描く〜物件から物語へ〜 株式会社 大城 RENOVEGGA 鹿児島市平野町9丁目11番9号 TEL 099-275-3600 リノベッが 大城 仁 (平成8年建設技術系卒 ラグビー部)	鹿児島県知事許可(第4)第00581号 株式会社 大隅機工 OSUMIKIKOU 代表取締役 牧 祐一 本社所在地 〒890-0036 鹿児島市田上4丁目16番18号 TEL.099(226)9300 FAX.099(226)9302	コンクリート二次製品製造販売 K.TOWA 鹿児島共和コンクリート工業株式会社 代表取締役社長 尾堂 友紀 〒892-0821 鹿児島市名山町1番3号 鹿児島ビル6F TEL.099-225-3881 FAX.099-225-3883 営業所: 鹿児島・大隅・種子島・大島
株式会社 鹿児島大理石 代表取締役 飯山 修 〒891-1304 鹿児島市本名町3046番地 TEL.099-294-3450	園芸資材販売 鹿児島ビニール株式会社 代表取締役 田中 隆三 (昭和42年工業化学科卒) 〒890-0052 鹿児島市上之園町13番地16 TEL.099-252-0753	住宅設備機器・LPG取扱い・総合メンテナンス オール電化・太陽光発電・リフォーム システムキッチン・システムバス・トイレ (有)川畑商会 代表取締役 川畑 輝文 (昭和41年機械科卒) 住所 鹿児島市和田二丁目47-10 電話 (099) 268-4554	感謝されるよう最大限の努力を致します。 川村法律事務所 弁護士 川村 重春 (昭和44年機械科卒) 〒892-0816 鹿児島市山下町12-5 藤崎ビル301号 TEL.099-227-2488
アルミ製建具・金属工事 株式会社 クリモト 鹿児島支店 営業部長 福山 裕司 (昭和63年電気科卒) 〒891-0115 鹿児島市東上町3-39 TEL.099-257-0061 FAX.099-267-6928	協和冷暖株式会社 空調・給排水衛生設備工事 設計・施工 代表取締役 上栗 信行 一級電気工事施工管理技士 〒890-0004 鹿児島市城島町6番6番 電話:099-230-0838 TEL 099-230-0838 FAX 099-230-0839 FAX 090-2794-7606 E-mail: n.kamiki@bbnbg.jp	総合コンサルタント 建設技術コンサルタンツ 鹿児島市伊敷台1丁目22番1号 TEL.099-229-2800 金丸 正光 (昭和51年土木科卒) 永井 真臣 (平成4年土木科卒) 黒木 誠 (平成5年土木科卒) 山下 明彦 (平成5年建築科卒) 楠元 宗喜 (平成19年建設技術系卒) 木村 聖斗 (平成26年建設技術系卒) 前田 龍成 (平成27年建設技術系卒) 前田 玲次 (平成28年建設技術系卒) 前田 優良 (平成29年建設技術系卒)	建築設計・監理 ゲンプラン設計株式会社 会長 増山 英樹 (昭和42年建築科卒) 〒890-0056 鹿児島市下荒田4丁目21-26-101 TEL.099-258-5888
apollostation (有)光陽石油 専務取締役 牧 明弘 (平成6年工業化学科卒) 〒892-0873 鹿児島市川上町3101 TEL.099-243-8981	確かな技術で明日を創る 株式会社 国土技術コンサルタンツ 代表取締役 安永 信一郎 (平成7年建築系卒) 取締役副社長 東 正美 (昭和50年土木科卒) その他 卒業生10名 〒890-0008 鹿児島市伊敷2丁目14番10号 TEL. 099-229-0030 FAX. 099-229-0474	不動産・建設業 (株)国分ハウジング 霧島本店 営業2課課長 荻 大介 (平成7年建築系卒) 霧島本店 設計 濱田 凌 (平成26年建築系卒) 霧島市国分中央3丁目3番3号 TEL.0995-45-8886	屋根、塗装、雨どい、板金、リフォーム工事 有限会社 坂之上板金塗装 代表取締役 坂之上 靖郎 (昭和58年建築科卒) 〒890-0011 鹿児島市玉里団地1丁目8-13 TEL. 099-229-0388
土木事業・ビル総合 株式会社 笹平組 代表取締役 笹平 裕樹 (平成3年工業化学科卒) 津曲 加奈子 (昭和63年インテリア科卒) 〒890-0056 鹿児島市下荒田2丁目7-12-1F TEL.099-296-9090 FAX.099-296-9158	(有)さつまエスケイ 代表取締役 須ヶ牟田 健二 (昭和56年機械科卒) 〒890-0035 鹿児島市市田上町4010-1 TEL.099-275-8101	五月産業(株) 代表取締役会長 池田 安則 (昭和42年土木科卒) 取締役工務部長 今給黎 宏仁 (昭和60年土木科卒) 卒業生一同 〒890-0008 鹿児島市伊敷6丁目13番1号 TEL.099-220-3030	ISO9001 認証取得 総合建設コンサルタント 株式会社 サタコンサルタンツ 代表取締役 重中 一郎 部長 中間 謙司 (昭和54年土木科卒) 部長 山下 修平 (昭和56年土木科卒) 課長 村尾 健太郎 (平成9年情報技術系卒) 課長 井田 直人 (平成20年建設技術系卒) 課長 築 彩夏 (令和5年建設技術系卒) 本社 〒890-0043 鹿児島市鷹栖町2丁目3番2号 TEL (099) 250-7360 FAX (099) 250-7380

同窓会名簿製作会社 株式会社 サラト 代表取締役 福田 裕一 〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172 TEL.079-284-1380	(株)三祐電工 会長 末吉安則 (S42電気卒) 舞田 博秋 (H3電気卒) 鹿児島市荒田二丁目2-14 TEL:099-252-9162	電気工事 設計・施工 有限会社 勝栄電設 代表取締役 有嶋 勝広 (平成5年電気科卒) 〒890-0011 鹿児島市玉里団地1-70-15 TEL.099-229-9498 FAX.099-229-9907	 総合建設業 株式会社 ジーテック 代表取締役 行徳 敏郎 鹿児島市西田3丁目1-1 TEL 099-204-0431
 医療法人常清会 理事 尾辻 信朗 〒890-0085 鹿児島市南新町1-29 TEL 099-251-2209 FAX 099-250-1607	住宅・マンション・不動産 ステップワン株式会社 代表取締役 見里 恒成 (平成3年機械科卒) 〒892-0836 鹿児島市錦江町1-18 TEL.099-248-7020	防犯カメラ・セキュリティ 及び パソコンメンテナンス スマート企画 SMART PLANNING 田代 隆明 (昭和62年機械科卒) 〒892-0841 鹿児島市照国町4-15 TEL. 099-295-3500	システム開発・学校連絡メール 有限会社 セキアシステムズ 代表取締役社長 瀬戸口 隆志 (昭和59年電気科卒) 〒890-0023 鹿児島市永吉2丁目29番11号 TEL.099-259-5325
株式会社ソーケン SOKEN SERVICE 上野 修市 (昭和59年土木科卒) 上野 英二 〒891-0115 鹿児島市東開町4番地25 TEL.099-210-0321	株式会社 大成電設 代表取締役 濱田 勇一郎 〒890-0045 鹿児島市武3丁目39-1 TEL.099-254-0602	貫く、生涯現役 大雄工業株式会社 会長 田崎 義雄 (昭和31年電気科卒) TEL. 090-5690-7287	(有)西薩サービス 取締役 猪八重 賢治 (平成14年建築系卒) 鹿児島市平之町13-41-701
セイカ食品株式会社 卒業生一同 〒890-0081 鹿児島市唐湊4丁目4-5 TEL 099-254-0685	株式会社 城山ストアー 代表取締役社長 池 昌 丈 二 〒890-0056 鹿児島市下荒田4丁目6番1号2階 TEL.099-257-3039	南国殖産株式会社 卒業生一同 〒890-0053 鹿児島市中央町18番地1 TEL.099-255-2111 (代表)	
Pro maintenance PUBLIC WORKS パブリックワークス 代表 松田 駿 平 〒891-0105 鹿児島市中山町3-1 TEL.099-801-3488	不動産業・開発コンサルタント フジタ開発株式会社 代表取締役 西 倉 宏 (平成元年インテリア科卒) 〒892-0825 鹿児島市大黒町3-6 TEL. 099-222-9000 FAX.099-222-9031	(株)古田水道建設 取締役 古田 弘美 (平成14年建築系卒) 垂水市田上649番地	平床建設(株) 代表取締役社長 平 床 淳 (平成6年 建技系卒) 〒890-0037 鹿児島市広木2丁目26-11 TEL.099-264-7186
(有)広木自動車工場 茂 谷 純 雄 (昭和44年 機械科卒) 〒890-0035 鹿児島市田上町4769-1	(株)フジサキ 代表取締役 撿 崎 学 (平成4年建築科卒) 〒892-0838 鹿児島市新屋敷町30番4号 TEL.099-225-3663	(株)フロンティア 代表取締役 山口 浩 宣 (昭和58年 機械科卒) 〒892-0841 鹿児島市照国町2番8号 TEL.099-239-1167	総合建設業 丸久建設株式会社 代表取締役 桑 木 喜 康 坂上 千治 (平成5年土木科卒) 鹿児島市永吉1丁目34番20号 TEL. 099-254-6225
おかげさまで51周年! 不動産・保険・リフォーム TOTORIMODEL会員 有限会社 マルミネ 丸峯 正治 丸峯 伸哉 (昭和31年機械科卒) (昭和60年機械科卒) 〒890-0069 鹿児島市南郡元町15-1 1F TEL.099-253-1717 FAX.099-253-1731	 株式会社 南 電 工 代表取締役社長 畠田 祐輝 平成21年度工業I類 電気技術系卒	株式会社 宮下工務店 代表取締役 宮ノ下 淳 (平成元年建築科卒) 〒890-0008 鹿児島市伊敷5丁目14番15号 TEL.099-229-1214代 FAX.099-229-9173	 MORIHIRO 株式会社 盛洋建設 代表取締役 川 崎 啓 二 (平成16年建築系卒) 〒890-0056 鹿児島市下荒田3丁目30-18 TEL. 099-256-0698
総合建設業(土木・港湾・建築) (株)森山(清)組 卒業生一同 鹿児島市唐湊一丁目13番25号 TEL. 099-252-1313	屋根緑化工事・防水工事・外壁補修工事 株式会社 山崎商会 代表取締役 山 崎 洋 (昭和45年土木科卒) 〒890-0023 鹿児島市永吉1-20-7 TEL.099-257-2535 FAX.099-257-2536	 YOSHIMARU 株式会社 吉丸組 代表取締役 吉丸 貴明 〒891-0012 鹿児島市玉里町20-40 TEL.099-226-7150 FAX.099-223-1602	お陰様で31周年 ロサンゼルス新撰組 レストラングループ 局長 重田 光康 東京都渋谷区恵比寿西1-9-7F TEL. 03-6712-7655

 —未来は人がつくる— 株式会社 始良電設 代表取締役 東 鶴 真 児 (平成12年電子工業系卒) 〒899-5421 鹿児島県始良市東餅田3829-2 TEL.0995-67-3913	(空調・消防・水道) 設計施工管理 アイテック株式会社 代表取締役 青 木 英 一 郎 (昭和42年土木科卒) 〒892-0871 鹿児島市吉野町2530番地 TEL.099-243-6883 FAX.099-244-5983
---	--

 稲森クレーン建設株式会社 代表取締役 稲 森 勝 次 稲 森 大 輔 (平成16年建築系卒) 〒891-0104 鹿児島市山田町4-1-6-4 TEL (099) 265-6651 FAX (099) 265-6780	 株式会社 エルグ設計事務所 代表取締役社長 向 江 光 平 〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-1-3 MKビル TEL: 03 3984-4058 http://www.le-pont.co.jp/
--	--

 合資会社 鹿児島広告社 代表社員 小 手 川 清 洋 工場長 田 畑 健 作 鹿児島市中央町 28-1	働きやすい環境づくり -作業用品(服・手袋・靴)、脱毛ゴム-  有限会社 鹿児島ゴム商会 取締役 池田祐晟 (平成27年電気技術系卒) TEL.0996-22-2337
--	---

株式会社 勝 建 設 代表取締役 上 原 勝 (昭和34年建築科卒) 高 柳 隆 一 (昭和36年建築科卒) 当ヶヶ盛 昇 (昭和37年建築科卒) 井 上 潤 一 (昭和44年建築科卒) 〒890-0016 鹿児島市新照院町19番1号 TEL.099-223-2271	株式会社 河野工業所 代表取締役 茂 谷 憲 二 新 盛 翔 麻 (昭和47年工業化学科卒) (平成20年電子機械系卒) 本社工場 東串良出張所 〒891-0202 鹿児島市喜入中名町1000-32 〒893-1615 鹿児島県肝属郡東串良町川東3889 TEL.099-345-1316(代) TEL.0994-63-7602 FAX.099-345-2522 FAX.0994-63-7603 URL http://www.kohno-k.co.jp
--	---

 オーナー 下大迫 貴彦 187 - 2171 - 8499 (平成11年工業化学系卒) 「会報誌見ました」で ドリンク1杯サービス	有限会社 こぞの建装 代表取締役 小 園 将 太 (平成13年建築系卒) 前 畑 翔 太 (平成13年建築系卒) 〒890-0075 鹿児島市桜ヶ丘7-14-1 TEL.099-811-1715
--	--

総合建設コンサルタント 大福コンサルタント株式会社 会 長 福 田 光 一 (昭和40年土木科卒) 卒業生一同 〒890-0068 鹿児島市東郡元町17番15号 TEL.099-251-7075 FAX.099-256-8534	— 街に緑を 建築に夢を — 国際品質保証規格 ISO9001認証取得 ISO14001認証取得  株式会社 東条設計 〒892-0803 鹿児島市祇園之洲町43番地 TEL:099(248)2251 FAX:099(248)2261 E-mail: tojo@tojo-aa.co.jp
---	--

空気調和・給排水衛生工事・設計・施工 人間の快適空間を築きます。 南菱冷熱工業株式会社 代表取締役社長 富 田 純 行 (昭和49年機械科卒) 卒業生一同 〒891-0123 鹿児島市卸本町5-4 TEL. 099-260-2351	建設コンサルタント  株式会社 萩 原 技 研 代表取締役会長 萩 原 敏 幸 (S43年土木) 卒業生一同 〒892-0816 鹿児島市山下町16番20号 TEL.099-222-8700 FAX.099-222-6100
---	---

 株式会社 太 代表取締役 中 島 常 夫 〒892-0835 鹿児島市城南町17-1	ひと・まち・つくる 建築総合請負業 株式会社 前 田 組 代表取締役 前 田 忠 倫 本 社 鹿児島市平之町7番17号 TEL.099-222-6111
--	--

総合建設業 丸福建設株式会社 代表取締役社長 谷口 明広 (昭和54年機械科卒) 卒業生一同 (24名) 〒892-8015 鹿児島市易居町4番3号 TEL. 099-222-5105 FAX. 099-222-5226	パソコン・ソフト・ネットワークIT全般 インターネット・販売業務サポート 株式会社 モバイルシステム 代表取締役 山元 一善 (昭和50年電気科卒) 〒892-8015 鹿児島市城山町 22番13号 TEL 099-295-4699 FAX 099-295-4697 児童社会福祉事業部 パソコン療育学習で児童発達支援サポート 放課後等デイサービス さくら明和・谷山・中山 TEL 099-213-9999 FAX 099-213-9953 明和教室 鹿児島市明和5丁目7-18 谷山教室 谷山中央7-19-16 中山教室 鹿児島市上福元町3562
---	---

株式会社 鹿工設備 代表取締役会長 佐藤 俊一 (昭和48年機械科卒) 代表取締役 佐藤 大助 (平成15年建築系卒) 取締役 佐藤 剛 (平成20年建設技術系卒) 〒891-1303 鹿児島市本城町1318-4 TEL.099-294-1130	～かごしまの社会基盤整備を担っています～ 鹿児島県庁 鹿児島工業土木部会 会長 馬場園 良幸 会員86名 (昭和59年土木科卒)
--	---

鹿児島県庁 鹿児島工業建築部会 会長 久保園 利秀 会員21名 (昭和63年建築科卒)	鹿児島工業高等学校同窓会 九州電力支部 支部長 上之蘭 善文 (平成2年電気科卒) 副支部長 沖 園 志 (平成5年電気科卒) 副支部長 東 省 吾 (平成8年電子工業系卒)
---	---

中国四国支部 支部長 佐伯 克彦 (昭和46年機械科卒) 顧問 田崎 義雄 (昭和43年電気科卒) 顧問 大園 盛隆 (昭和44年電気科卒) 顧問 居 倉 由美子 (昭和48年工業科卒) 事務局次長 臂 奈恵 (昭和62年建築科卒)	九州支部 支部長 徳満 達夫 (昭和42年建築科卒) 副支部長 柳 時一 (昭和49年建築科卒) 事務局長 上 園 剛司 (昭和60年土木科卒) 監事 上 里 恭博 (昭和45年機械科卒)	鹿児島工業高校同窓会 いちき串木野支部 支部長 上荒磯 力 (昭和47年機械科卒) 他 幹事一同	鹿工同窓会 大島支部 支部長 高田 浩志 (昭和55年土木科卒) 他 役員一同 〒894-3411 大島郡宇検村宇検642-2 TEL.0997-67-6476
--	--	---	--

母校との連携、会員相互の親睦 -1985年設立- 鹿児島工業土木・建設技術会 会長 池田 安則 (昭和42年卒) 副会長 山崎 洋 (昭和45年卒) 副会長 米倉 文治 (昭和59年卒) 副会長 別府 信行 (昭和49年卒) 副会長 永田 雄一 (昭和61年卒) 事務局 〒890-0008 鹿児島市伊敷6-13-1 五月産業㈱ TEL. 099-220-3030 FAX. 099-220-3480	鹿児島工業工芸インテリア会 会長 西 倉 宏 (平成元年インテリア科卒) 会員一同	鹿児島工業同窓会 市役所分会 会長 上田平 孝志 〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号 TEL.099-224-1111	鹿児島工業電気部会 会長 江 藤 正幸 (昭和41年電気科卒) 会員一同
---	--	---	---

鹿工バスケットボール部 平成14年卒 一同

岩川 翔 (機械 中興/CAフエ工業株式会社)	瀧ノ上 圭太 (機械 株式会社)	吐合 俊也 (機械 株式会社サナス)	並松 高志 (建築 有限会社鹿島工業 西のガレージ)
内之浦 悠考 (機械 株式会社SYSEIN)	川瀬 将太 (機械 鹿児島市東通)	河野 文映 (電気 SKNドライブイン ジャパン株式会社)	松岡 裕作 (インテリア スパイスカレー ラフタフ)
中村 博之 (機械 日産自動車九州株式会社)	迫田 慎二 (機械 三菱重工)	北島 義孝 (建築 ワールドフォアサイド)	六反 誠 (インテリア ロウタン建設)

協賛広告のご協力を賜り有難うございました

※ 2025 年度版、県外企業の広告を歓迎しています。

同窓会運営協力金のお願い

会報誌「ろっこう」は同窓会活動や母校の近況を案内するとともに、会員が経営する会社や多くの会員が集う団体を広告する冊子です。会員相互の絆を深める情報伝達手段であり、継続することが重要と考えています。今年も第14号をお届けすることが出来ました。

「ろっこう」の発行につきましては、多くの会員並びに恩師の方々から頂いた協力金で賄う仕組みとなっています。令和5年度も多額の協力金(1,078件225万円余り)をいただき、役員一同深く感謝しています。

一方、印刷並びに発送に要する経費は「ろっこう」13号で365万円かかったため、不足額を同窓会会計で充当しております。この状況は数年続いており、今後の物価高による影響も懸念しております。このようなことから協力金の値上げをお願いすることになりました。会員の皆様に対して出費多端の折に非常に心苦しいのですが、引き続き発刊していくためには1口3千円でお願することについてどうぞご理解ご協力をお願いします。

**同窓会運営協力金の振込用紙を同送しておりますので、
1口3,000円(コンビニでは1口、郵便局では何口も可)の
寄付をお願い申し上げます。**

御社の広告を同窓会ホームページに掲載出来ます

同窓会ホームページでは卒業生が経営する企業からのバナー広告を募集しています。また、卒業生が勤務する企業からもバナー広告を募っております。すでに8社が広告掲載していますが、この機会に社名を広く卒業生へ広告案内してみませんか。4月から翌年3月までの掲載費用は6,000円(消費税込み)ですが、年度途中からの掲載費用は月額500円に月数をかけた額となります。

<http://rokkoob.jp>



編集後書

会報誌の表紙写真は鹿児島市千日前の「センテラス天文館」(高島屋デパート跡地に建て替えられた複合ビル)の15階から撮影した桜島です。桜島は活火山が市街地近くから見えるため、外国人観光客は勿論のこと国内の観光客に対して観光の目玉です。鹿児島に帰省した人も桜島を見て、故郷への愛着を強く思い出すとよく聞きます。

会報誌の表紙写真には、好評なため5回掲載しております。鹿児島港南ふ頭から撮影(第2号)、高く噴火爆発した写真(第5号)、夜間の噴火火映写真(第6号)、早朝に天保山あたりからの撮影(第9号)、磯海水浴場からの撮影(第13号)です。四季の風景による違いや吉野公園やマリンポート、牛根など撮影場所で見える桜島の形容の変化が興味深く、皆様に紹介できることが楽しみです。

〈発行所〉 県立鹿児島工業高校同窓会

〈発行人〉 会長 永里和吉

〈事務局〉 鹿児島市草牟田二丁目57番1号(鹿工会館) TEL 099-239-1654 FAX 099-239-1862

〈仕分け・発送〉 ㈱サルト 印刷 山之内印刷 代表者 中島 淳 (H2土木卒)

みんなの文字®

この制作物は、みんなの文字を使用しています。みんなの文字は、一般社団法人UCDAが「読みやすさ」を認証した書体です。